

2月24日 練習試合 vs 東大和南 マネージャーレポート



相手校はパス回しを中心に組み立てるオフェンスをしていました。スクリーンをかけてからボールを貰い、できるだけ楽に点を取れるようにパス回しをしてシュートする場面が多かったです。ディフェンスはプレッシャーが強く、しつこくディナイされる印象が強かったです。横のパスは積極的にパスカットを狙っていました。見習うべき点が沢山あったので日頃の練習から意識していきたいです。

本校は点差が縮まったときにルーズボールやディフェンスなどでハードワークできたのが良かったです。ベンチからも声を出して盛り上がっていました。コート内での声掛けも多くなってきて良いと思います。ですが、1対1を使ったオフェンスが多くなってしまったことが反省としてあげられました。ハンドラーやシューターの負担が大きくなってしまう試合となりました。今後、勝ち進んでいくにつれて1対1中心のオフェンスでは限界が来てしまうので、オフボールの動きも意識してできるだけ楽に点を取れるようなオフェンスに切り替えていきたいです。

試合の入りがあまり良くなかったです。相手校の圧に飲まれそうになっている雰囲気を感じ取れました。試合の入りから東大和が優位に立てるようにコート内からもベンチからも声を出して、プレッシャーに打ち勝てるようにして行きたいと思います。緩いパスが多かったので、強いパスをだしてパスカットを狙われないようにしたいです。

今回の試合は、入りで圧に負けてしまったところから慣れていないかの差が大きく出る試合となりました。対応する方法は色々ありますが、準備していないと出来ないことだと思うので、普段からもっとプレッシャーをかけて練習していきたいです。